

令和5年度第3回 松江市公共交通利用促進市民会議

- 1 日 時 令和5年11月9日（木） 13時30分～15時30分
- 2 場 所 松江市役所第1常任委員会室
- 3 出席者 別紙参照

4 内容

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 路線バスの現状について
 - (2) 松江市地域公共交通計画策定準備業務について
 - (3) ニーズ調査の速報について
 - (4) 第3次計画の評価検証について
 - (5) 課題の整理と基本的な方針について
- 4 その他

5 要旨

- 1 開会
- 2 あいさつ
 - ・松江市公共交通利用促進市民会議加藤会長があいさつをした。
- 3 議事
 - ・別紙参照
- 4 その他
 - ・別紙参照

1. 出席者名簿

出席者名簿

会員名	役職名	氏名	備考
学 識 経 験 者	米子工業高等専門学校教授	加 藤 博 和	
松 江 市 公 民 館 長 会	会 長	三 宅 克 正	
松江市町内会・自治会連合会	常 任 理 事	白 石 照 雄	
松江市高齢者クラブ連合会	事 務 局 長	松 延 由 子	欠席
松江市身障者福祉協会	会 長	広 野 正 充	
松 江 市 連 合 婦 人 会	会 長	万 代 悦 子	欠席
松江市コミュニティバス利用促進協議会連絡会	会 長	長 野 正 夫	欠席
松 江 商 工 会 議 所	専 務 理 事	松 浦 俊 彦	欠席
連合島根東部地域協議会	松 江 支 部 書 記 長	高 橋 卓 己	代理
島根県旅客自動車協会	専 務 理 事	秦 日 出 海	
一 畑 バ ス 株 式 会 社	代 表 取 締 役	吉 田 伸 司	
松 江 市 交 通 局	交 通 局 長	須 山 敏 之	
有限会社生馬タクシー	代 表 取 締 役 社 長	福 田 宏 二	
有限会社鹿島タクシー	代 表 取 締 役 社 長	物 部 淳 治	
西日本旅客鉄道株式会社	山陰支社山陰地域振興本部課員	川 上 潤 一	代理
一 畑 電 車 株 式 会 社	営 業 部 長	野 津 昌 巳	
国土交通省中国運輸局島根運輸支局	首席運輸企画専門官	橋 本 健 司	
島 根 県 松 江 警 察 署	交 通 総 務 課 長	松 浦 利 行	
松 江 市	都 市 整 備 部 長	井 上 雅 雄	

【株式会社バイタルリード】

総 合 計 画 部 長	宮下 和也
総合計画部 計画一課 係長	須山 侑子
総合計画部 計画二課 主任	原 雄一郎

【事務局】

松江市交通政策課	課 長	山 崎 透
〃	係 長	長谷川 文洋
〃	副主任	深 田 将 平

2. 議事

(1) 松江市地域公共交通計画の策定について

- ① 路線バスの現状について
- ② 松江市地域公共交通計画策定準備作業について
- ③ ニーズ調査の速報について
- ④ 第3次計画の評価検証について

連合島根東部地域協議会

- ・ 市民アンケート調査の問5「現在利用している SNS」について、携帯電話を持っていない人も回答に含まれるのか。
 - 問5は携帯電話を持っている人のみの回答である。回答総数に占める問5の回答者数の割合は、コミュニティバス運行地域で約3/4となり、これらの人が少なくとも携帯電話を持っているということになる。

松江市交通局

- ・ 市民アンケート調査の最終結果はいつ頃まとまり、どのような形でお知らせいただける予定か。アンケート結果が計画に反映されるような形にしてほしい。
 - 年内の取りまとめを予定している。次回の市民会議に向け、市民アンケート調査を含むニーズ調査結果は、まとまったものから共有するようにする。

JR 西日本

- ・ 市民アンケート調査は、コミュニティバス非運行地域とコミュニティバス運行地域に分けて実施しているが、コミュニティバス非運行地域は、路線バスが走っている比較的人口が密集している地域ということか。
 - その通り。
- ・ コミュニティバスと路線バスの両方が運行している地域はどちらに分類されているのか。
 - コミュニティバス運行地域に分類している。

⑤ 課題の整理と基本的な方針について

三宅会長

- ・ 次回以降は会議資料の事前送付をお願いしたい。
- ・ 市民アンケート調査の結果によると、公共交通は市民からある程度見限られているようにも見える。きれいごとを言っても仕方がないという印象を受けた。
- ・ 計画期間は5年間ということだが、その先の10～20年後を見据えることが重要。
- ・ 人口減少の影響は深刻。高校生の通学定期が収益源の一つと思われるが、市内の高校の生徒数や出生数の減少をみると10年先は悲惨な状態になる。
- ・ 人々の価値観が変わりつつある中、ライドシェアの動きなどもあり、乗合バス事業のビジネスモデルは10年後、20年後も成り立つのか疑問に感じる。計画期間中には、将来を見据えた調査・研究なども必要ではないか。
- ・ 消防や自衛隊のOBを運転手として雇用している事業者もあるときいた。担い手不足に対しては、行政の支援も必要。

- ・ 市内の路線バスには、非効率な運行となっている区間がある。他の自治体では複数の事業者による共同経営を行っている事例もある。そうした事例も参考に、乗合バスの共同経営について、一畑バスと松江市交通局の両事業者で話し合った上で、この5年間に検討することも必要では。
- ・ 計画では、当面取り組むこと（短期的な取組）と、将来を見据えた長期的な取り組みを分けて記載していただきたい。

一畑バス

- ・ 運転手の確保については、ご提案いただいた消防や自衛隊OBを対象とした採用活動を含め、あらゆることに取り組んでいる。しかしながら、先日も松江市交通局と一緒にいった採用活動では来場者が1名であったように、大変苦労している。
- ・ バスの運転は、機器の操作やワンマン対応など難しい部分がある。バスはタクシーに比べて運転手の平均年齢が低い、大型車両で一度に大人数を輸送することもあり、安全面を考慮すると70歳くらいが限界かと考えている。
- ・ 共同経営計画については、先進事例である熊本市などを参考に勉強中である。
- ・ 路線バスの非効率な運行について、同方向のバスが何便も連なる現象は、通勤・通学時間帯に各地域から市中心部に向かうバスが同じ時間帯に集中するためである。これまでも、松江市交通局と協議を重ねているが、利便性を考えると完全に解消することは難しい。
- ・ EVバスや自動運転の実証実験・社会実装に向けた制度設計や支援について、島根県バス協会から国に対して要望を行っている。国は大型の予算措置を行っているが、EVバスについては充電設備の整備が必要といった問題もあり、5年間では厳しい。10年、20年先を見据えた取組が必要である。

島根県旅客自動車協会

- ・ ラストワンマイルを支えるタクシー事業を存続させるためにも、労働条件の改善や行政の支援が必要である。

松江市都市整備部

- ・ コンパクトプラスネットワークを実現するために、路線バスをはじめとする公共交通のあり方が問われている。市が事業者の間に立って調整し、共同経営を含めた路線の効率化などに取り組んでいきたい。

3. その他

事務局

- ・ ノーマイカーデー（毎月1日と20日）の取組の一環として、上定市長が公共交通の通勤利用を呼び掛けるイベントを行う。日時は11月20日（月）7時20分を予定している。

以上